

5 赤潮の発生状況

表 5-5 赤潮による主な漁業被害一覧（昭和 47 年～令和元年）

年	発生海域	プランクトン	被害内容	被害金額
昭47	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ 約 1,400万尾へい死	71 億円
52	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ 約 330万尾へい死	30 億円
53	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ 約 280万尾へい死	33 億円
54	豊後水道	シャットネラ	養殖ハマチ 約 99万尾へい死	11 億円
		ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 71万尾へい死	
55	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 53万尾へい死	4 億円
56	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 7万尾へい死	1 億円
57	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ 約 29万尾へい死	11 億円
		ギウノディニウム	養殖マダイなど 約 29万尾へい死	
58	紀伊水道	シャットネラ	養殖ハマチ 約 29万尾へい死	4 億円
60	周防灘	ギウノディニウム	養殖ハマチ 天然魚分類 約 5,600トンへい死	10 億円
61	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 130トンへい死	4 億円
62	播磨灘等	シャットネラ	養殖ハマチ 約 135万尾へい死	25 億円
平元	豊後水道	シャットネラ	養殖ハマチなど 約 16万尾へい死	5 億円
3	安芸灘	ギウノディニウム	養殖マダイなど 約 176万尾へい死	15 億円
5	豊後水道	ゴニオラックス	養殖ブリなど 約 3万尾へい死	1 億円
6	豊後水道	ゴニオラックス	養殖マダイなど 約 132万尾へい死	8 億円
7	播磨灘	ギウノディニウム	養殖マダイなど 約 60万尾へい死	10 億円
		ヘテロカブサ	養殖マガキ稚貝など 約 610万枚へい死	
8	安芸灘	ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 3万尾へい死	1 億円
9	安芸灘	ヘテロカブサ	養殖マガキ 約 494万枚へい死	3 億円
10	安芸灘	ヘテロカブサ	養殖マガキなど 約 8,518万枚へい死	39 億円
13	豊後水道	ギウノディニウム	養殖ブリ 約 5万尾へい死	2 億円
			養殖アワビ 約 3万個へい死	
			養殖魚分類 739キロへい死	
14	安芸灘	ギウノディニウム	養殖ハマチなど 約 27万尾へい死	1 億円
15	播磨灘	シャットネラ	養殖ハマチ 約 29万尾へい死	7 億円
		シャットネラ	養殖ハマチなど 約 26万尾へい死	
16	大阪湾	コシノディスカス	養殖ノリ 注3) 色落ち	58 億円
		ユウカンピア	養殖マダイなど 約 31万尾へい死	
		コクロディニウム	養殖ハマチなど 約 5万尾へい死	
		シャットネラ		
17	豊後水道	ギウノディニウム	養殖トラフグ 約 11万尾へい死	3 億円
			養殖ヒラメ 約 10万尾へい死	
			養殖ブリなど 約 20万尾へい死	
18	豊後水道	コクロディニウム	養殖ヒラメ 約 2万尾へい死	2 億円
			養殖ヒラマサ 約 3万尾へい死	
			養殖マダイ等 約 2万尾へい死	
19	豊後水道	カレニア	養殖ハマチ 約 18万尾へい死	4 億円
			養殖カンパチ等 約 11万尾へい死	
			養殖ヒラメ 約 6万尾へい死	
24	豊後水道	カレニア	養殖カンパチ、マダイ等 約 169万枚へい死	15 億円
			養殖アワビ 約 9万尾へい死	
			天然アワビ、サザエ等 58トンへい死	
25	豊後水道	コクロディニウム	養殖カンパチ 約 6万尾へい死	2 億円
		コクロディニウム	養殖シマアジ 約 8千尾へい死	
		コクロディニウム	養殖カンパチ 約 2万尾へい死	
26	豊後水道	カレニア	養殖ブリ、カンパチ、ヒラメ等 約 14万尾へい死	1 億円
27	豊後水道	カレニア	養殖マダイ、カンパチ 約 29万尾へい死	4 億円
			アコヤ貝等 約 70万尾へい死	
30	豊後水道	カレニア	養殖マダイ等 約 10万尾へい死	2 億円
			養殖アワビ 約 5千個へい死	
			養殖トラフグ 約 2万尾へい死	
令和	豊後水道	コクロディニウム	養殖クロマグロ 養殖マダイ 約 4千尾へい死	4 億円

- 注) 1. 湾・灘の区分は「瀬戸内海の赤潮」に準ずる。
 2. 被害金額が年間1億円以上の年を掲載し、被害内容等は代表的なものとした。
 3. 平成16年の養殖ノリの色落ち被害は、色落ちのなかった5年間生産枚数、生産金額を基準に16年の漁期における共販実績から算定されたものである。
 4. 被害金額は土佐湾を含む場合がある。

出典：「瀬戸内海の赤潮」（水産庁瀬戸内海漁業調整事務所）